

## 平成 18 年社会生活基本調査 結果の要約

### 調査の概要

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることにより、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和 51 年の第 1 回調査以来 5 年ごとに実施しており、平成 18 年 10 月に 7 回目を実施しました。

調査の対象は、全国の世帯から無作為に選定された約 8 万世帯（山形県は 1,380 世帯）で、その世帯に普段住んでいる 10 歳以上の世帯員約 18 万人（山形県は約 3,800 人）から得たデータで、総人口に置き換えたものです。

なお、この結果は、総務省統計局で公表されたなかから、**山形県について主なもの**を取りまとめたものです。

### 結果の概略

#### 生活時間に関する結果

1. 1 日の生活時間 ・ 3 次活動時間が減少し、1 次活動時間が増加
2. 1 次活動時間 ・ 睡眠時間 よく寝る東北人  
・ 食事の時間 若年層は短く、高齢層は長い
3. 2 次活動時間 ・ 仕事時間 男性は減少、女性は増加  
・ 家事関連時間 依然男女の差が大きい
4. 3 次活動時間 ・ 休養等自由時間活動の時間 25～34 歳が最も短い  
・ 積極的自由時間活動の時間 45～54 歳が最も短い
5. 主な行動の平均時刻 ・ 夕食開始時刻、就寝時刻は全国平均より早い

#### 生活行動に関する結果

1. インターネットの利用 ・ 男性の約 5 割、女性の約 4 割が利用  
・ 「電子メール」での利用が一番、「商品やサービスの予約・購入、支払い等」は約 17%
2. 学習・研究 ・ 男性は「パソコン等の情報処理」、女性は「家政・家事」の行動者率が高い  
・ 「パソコン等の情報処理」の行動者率が最も低下
3. スポーツ ・ 約 6 割の人が「スポーツ」、行動者率は全体的に低下  
・ 男女とも「ウォーキング・軽い体操」の行動者率が最も高い
4. 趣味・娯楽 ・ 若い年齢層から順に「テレビゲーム等」、「CD 等による音楽鑑賞」、「園芸・庭いじり・ガーデニング」  
・ 「映画鑑賞」「テレビゲーム、パソコンゲーム」などは行動者率が上昇
5. ボランティア活動 ・ 約 3 割の人が「ボランティア活動」、行動者率が高いのは 45～54 歳の男性  
・ 行動者率が高い「まちづくりのための活動」
6. 旅行・行楽 ・ 約 7 割の人が「旅行」、行動者率は各年齢層で低下  
・ 観光旅行等すべての種類で行動者率が低下

# 《山形県民の生活時間》

## 1.1 日の生活時間

3次活動時間が減少し、1次活動時間が増加

10歳以上の人について1日の生活時間（週全体平均(以下「週全体」という。))をみると、1次活動（睡眠、食事など生理的に必要な活動）の時間が10時間52分、2次活動（仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動）の時間が6時間53分、3次活動（1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動）の時間が6時間15分となっている。

男女別にみると、1次及び3次活動時間は、男性が女性より長くなっており（1次7分、3次19分）、2次活動時間は女性が男性より25分長くなっている。

平成13年と比べると、1次活動時間は男性が12分増加し、女性が4分減少している。2次活動時間は男性が横ばいで、女性が2分増加している。3次活動時間については、男性が12分減少し、女性が2分増加している。（表1）

表1 男女、行動の種類別生活時間（平成13年、18年） 週全体

行 動 の 種 類	総数		男		女	
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年
<b>1次活動</b>	<b>10.48</b>	<b>10.52</b>	<b>10.44</b>	<b>10.56</b>	<b>10.53</b>	<b>10.49</b>
睡眠	8.02	8.05	8.09	8.17	7.55	7.55
身の回りの用事	1.11	1.11	1.02	1.04	1.19	1.17
食事	1.36	1.36	1.33	1.35	1.39	1.38
<b>2次活動</b>	<b>6.52</b>	<b>6.53</b>	<b>6.40</b>	<b>6.40</b>	<b>7.03</b>	<b>7.05</b>
通勤・通学	0.24	0.21	0.31	0.25	0.17	0.18
仕事	3.46	3.52	4.54	4.52	2.43	2.57
学業	0.40	0.40	0.41	0.43	0.39	0.37
家事	1.21	1.22	0.13	0.18	2.23	2.20
介護・看護	0.04	0.04	0.01	0.02	0.06	0.06
育児	0.16	0.13	0.05	0.05	0.27	0.20
買い物	0.22	0.21	0.14	0.15	0.29	0.27
<b>3次活動</b>	<b>6.19</b>	<b>6.15</b>	<b>6.37</b>	<b>6.25</b>	<b>6.04</b>	<b>6.06</b>
移動（通勤・通学を除く）	0.26	0.26	0.28	0.26	0.24	0.26
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.30	2.22	2.39	2.25	2.21	2.20
休養・くつろぎ	1.26	1.30	1.24	1.28	1.27	1.32
学習・研究（学業以外）	0.11	0.08	0.11	0.08	0.11	0.09
趣味・娯楽	0.37	0.39	0.45	0.50	0.30	0.29
スポーツ	0.13	0.12	0.16	0.16	0.10	0.08
ボランティア活動・社会参加活動	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.03
交際・付き合い	0.26	0.23	0.24	0.22	0.28	0.25
受診・療養	0.09	0.13	0.07	0.09	0.11	0.16
その他の	0.17	0.17	0.17	0.16	0.18	0.18
<b>(再掲)</b>						
家事関連時間	2.03	2.00	0.33	0.40	3.25	3.13
休養等自由時間活動	3.56	3.52	4.03	3.53	3.48	3.52
積極的自由時間活動	1.05	1.03	1.16	1.19	0.55	0.49

注1:「家事関連時間」は、「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計時間

注2:「休養等自由時間活動」は、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」の合計時間

注3:「積極的自由時間活動」は、「学習・研究」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」の合計時間

年齢階級別にみると、増減がもっとも顕著なのは、15～24歳の男性で、3次活動時間が54分減少する一方、1次活動時間が25分、2次活動時間が29分増加している。

また、25～34歳においては男女ともに2次活動が大きく減少し（男性49分、女性42分）1次活動時間と3次活動時間が増加している。一方65～74歳においては男女ともに2次活動が大きく増加し（男性40分、女性43分）、3次活動時間が減少している。（表2）

表2 男女、年齢階級、行動の種類別生活時間 週全体

(時間.分)

	男			女		
	1次	2次	3次	1次	2次	3次
10～14歳	10.42(-0.10)	6.06( 0.18)	7.12(-0.08)	10.51(-0.15)	6.26(-0.03)	6.44( 0.19)
15～24歳	10.28( 0.25)	7.36( 0.29)	5.56(-0.54)	10.10(-0.30)	7.36( 0.26)	6.13( 0.02)
25～34歳	10.45( 0.32)	7.46(-0.49)	5.29( 0.17)	10.49( 0.40)	8.28(-0.42)	4.43( 0.03)
35～44歳	10.21( 0.10)	8.16( 0.09)	5.23(-0.18)	9.56(-0.08)	9.10( 0.02)	4.54( 0.06)
45～54歳	10.08(-0.12)	8.19( 0.15)	5.33(-0.03)	9.50(-0.08)	9.09( 0.03)	5.02( 0.07)
55～64歳	10.56( 0.11)	7.15(-0.03)	5.49(-0.08)	10.28(-0.29)	7.47( 0.35)	5.44(-0.07)
65～74歳	11.39( 0.01)	4.08( 0.40)	8.13(-0.41)	11.20(-0.13)	5.57( 0.43)	6.43(-0.30)
75歳以上	12.49(-0.01)	2.11( 0.11)	9.00(-0.10)	12.36(-0.09)	2.52( 0.16)	8.32(-0.07)

注：( )内は平成13年からの増減

## 2. 1次活動時間

### (1) 睡眠時間 - よく寝る東北人

1次活動のうち睡眠時間は、男性は8時間17分、女性は7時間55分となっていて、男女総数でみた8時間5分は、秋田県と並んで全国第1位となっている。

週全体の睡眠時間を平成13年と比べると、3分の増加となっており、女性は横ばいで、男性が8分増加している。（表3、4）

表3 曜日別睡眠時間

(時間.分)

	週全体	平日	土曜日	日曜日
総数	8.05 ( 0.03)	8.00 ( 0.06)	8.06 (-0.06)	8.29 ( 0.00)
男	8.17 ( 0.08)	8.13 ( 0.11)	8.15 (-0.07)	8.39 ( 0.04)
女	7.55 ( 0.00)	7.49 ( 0.02)	7.57 (-0.07)	8.19 (-0.05)

注：( )内は平成13年からの増減

表4 県別睡眠時間順位

(時間.分)

順位	県	睡眠時間(週全体平均)
1	山形県	8.05
	秋田県	8.05
3	青森県	8.02
4	岩手県	8.00
5	宮城県	7.55

年齢階級別にみても、25～44歳の年齢層で増加（25～34歳21分、35～44歳8分）して、他の年齢層では減少している。

男女別にみても、どの年齢層でも男性が女性よりも長くなっている。（表5）

表5 男女、年齢階級別睡眠時間 週全体

(時間.分)

	総数		男		女		男-女
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	
10～14歳	8.36	8.25	8.34	8.27	8.38	8.24	0.03
15～24歳	7.54	7.48	7.57	8.04	7.51	7.31	0.33
25～34歳	7.41	8.02	7.49	8.11	7.33	7.52	0.19
35～44歳	7.27	7.35	7.40	7.55	7.13	7.16	0.39
45～54歳	7.29	7.25	7.48	7.44	7.10	7.06	0.38
55～64歳	7.56	7.49	8.08	8.05	7.45	7.32	0.33
65～74歳	8.26	8.25	8.43	8.39	8.13	8.13	0.26
75歳以上	9.29	9.27	9.29	9.40	9.28	9.19	0.21

(2) 食事の時間 - 若年層は短く、高齢層は長い

食事時間は1時間36分で、男性は1時間35分、女性は1時間38分となり、女性が長くなっている。

年齢階級別にみると、15～24歳にかけて最も短く、45歳代から年齢が高くなるほど長くなる傾向となっており、65歳以上の高齢層は1時間51分以上となっている。(表6)

表6 男女、年齢階級別食事時間 - 週全体

	(時間.分)						
	総数		男		女		男-女
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成18年
10～14歳	1.24	1.24	1.23	1.24	1.25	1.25	-0.01
15～24歳	1.21	1.20	1.16	1.19	1.26	1.21	-0.02
25～34歳	1.20	1.32	1.17	1.30	1.22	1.34	-0.04
35～44歳	1.30	1.25	1.28	1.26	1.33	1.24	0.02
45～54歳	1.36	1.30	1.33	1.25	1.38	1.35	-0.10
55～64歳	1.43	1.45	1.38	1.47	1.47	1.43	0.04
65～74歳	1.54	1.51	1.51	1.52	1.56	1.50	0.02
75歳以上	1.54	1.52	1.59	1.52	1.51	1.52	0.00

### 3. 2次活動時間

(1) 仕事時間 - 男性は減少、女性は増加

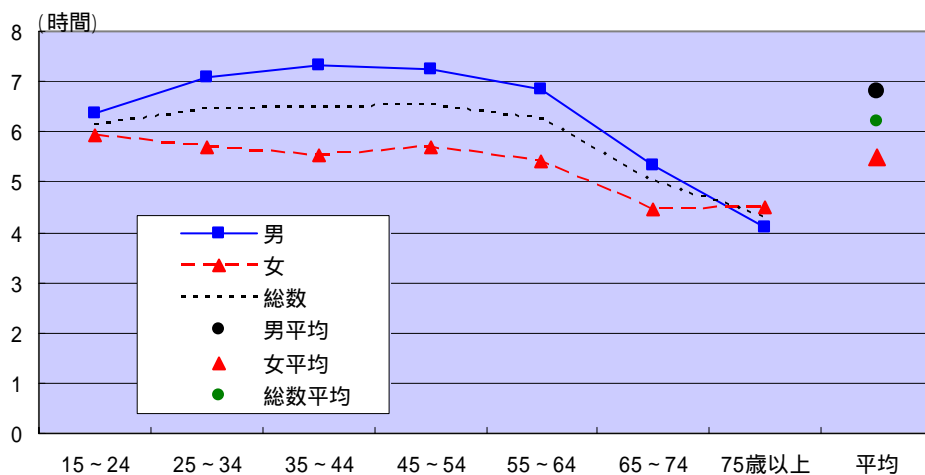
15歳以上人口に占める有業者の割合(有業率)は64.7%で、男性は74.8%、女性は55.4%となっている。

有業者の1日の仕事時間(週全体)は、6時間12分で、男性が6時間48分、女性が5時間29分となっており、平成13年と比べると、男性は6分の減少で、女性は12分の増加となっている。

年齢階級別にみると、45～54歳が6時間32分ともっとも長く、これより年齢が低くまたは高くなるほど短くなっている。

男女別にみると、男性が35～44歳が7時間20分、女性が15～24歳が5時間55分で最も長くなっている。(図1)

図1 男女、年齢階級別仕事時間(有業者) - 週全体



(2)家事関連時間 - 依然男女の差が大きい

15歳以上の人について、家事関連時間を男女別に平成13年と比べると、男性は6分の増加となっているのに対し、女性は10分減少しているが、男女の差は2時間43分とまだ差が大きい。

有業者についても比べてみると、男性は5分の増加で、女性は13分の減少となっているが、依然男女の差はまだ大きい。(表7)

表7 男女、ふだんの就業状態別家事関連時間(15歳以上) - 週全体

	総数		男		女		男-女
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成18年
総数	2.08	2.06	0.35	0.41	3.34	3.24	-2.43
有業者	1.40	1.39	0.30	0.35	3.11	2.58	-2.23
無業者	2.57	2.55	0.50	0.59	4.00	3.54	-2.55

注:「家事関連時間」は「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計時間

#### 4.3 活動時間

(1)休養等自由時間活動の時間 - 25~34歳が最も短い

休養等自由時間活動の時間(「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」の合計時間)は3時間52分となっている。

平成13年と比べると、4分の減少となっており、男女とも「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」に費やす時間は減少し、「休養・くつろぎ」に費やす時間が増えている。

年齢階級別にみると、男女とも25~34歳が最も短くなっており、年齢が高くなるほど長くなっている。(表8)

表8 男女・年齢階級別休養等自由時間活動(平成13年、18年) - 週全体

	総数		男		女		男-女
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成18年
休養等自由時間活動	3.56	3.52	4.03	3.53	3.48	3.52	0.01
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.30	2.22	2.39	2.25	2.21	2.20	0.05
休養・くつろぎ	1.26	1.30	1.24	1.28	1.27	1.32	-0.04

休養等自由時間活動

	総数		男		女		男-女
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成18年
10~14歳	3.30	3.33	3.38	3.32	3.23	3.36	-0.04
15~24歳	3.25	3.12	3.20	3.01	3.32	3.23	-0.22
25~34歳	2.52	2.51	2.58	2.53	2.45	2.48	0.05
35~44歳	3.06	3.09	3.25	3.20	2.48	2.56	0.24
45~54歳	3.23	3.22	3.49	3.29	2.56	3.14	0.15
55~64歳	3.36	3.31	3.49	3.34	3.24	3.29	0.05
65~74歳	5.12	4.50	5.47	5.20	4.43	4.25	0.55
75歳以上	6.32	6.11	6.30	6.14	6.34	6.09	0.05

(2)積極的自由時間活動の時間 - 45~54歳が最も短い

積極的自由時間活動の時間(「学習・研究(学業以外)」、「趣味・娯楽」等の合計時間)は1時間3分で、このうち「趣味・娯楽」に費やす時間が39分と最も長く、次いで「スポーツ」12分、「学習・研究」8分の順となっている。

平成 13 年と比較すると、2 分の減少となっており、このうち「学習・研究」の時間は男女とも減少している。

年齢階級別にみると、45～54 歳が 45 分と最も短く、これより年齢が低くなるほど長い傾向となっている。(表 9)

表 9 男女・年齢階級別積極的自由時間活動(平成 13 年、18 年) - 週全体

	(時間.分)						
	総数		男		女		男-女
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成18年
積極的自由時間活動	1.05	1.03	1.16	1.19	0.55	0.49	0.30
学習・研究(学業以外)	0.11	0.08	0.11	0.08	0.11	0.09	-0.01
趣味・娯楽	0.37	0.39	0.45	0.50	0.30	0.29	0.21
スポーツ	0.13	0.12	0.16	0.16	0.10	0.08	0.08
ボランティア活動・ 社会参加活動	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.03	0.02

	積極的自由時間活動						
	総数		男		女		男-女
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成18年
10～14歳	2.26	2.32	2.48	2.47	2.05	2.17	0.30
15～24歳	1.44	1.37	2.03	1.51	1.25	1.24	0.27
25～34歳	0.49	1.02	0.59	1.31	0.39	0.34	0.57
35～44歳	0.53	0.52	0.59	1.09	0.47	0.37	0.32
45～54歳	0.45	0.45	0.44	1.00	0.45	0.33	0.27
55～64歳	0.55	0.48	0.52	0.52	0.56	0.43	0.09
65～74歳	1.11	1.02	1.32	1.16	0.52	0.50	0.26
75歳以上	0.48	0.47	1.22	1.03	0.29	0.38	0.25

## 5. 主な行動の平均時刻

夕食開始時刻・就寝時刻は全国平均より早い

主な行動について平日の平均時刻をみると、起床時刻は 6 時 38 分、朝食開始時刻は 7 時 18 分、夕食開始時刻は 18 時 56 分、就寝時刻は 22 時 46 分となっている。

朝食開始時刻は全国平均時刻より遅く、夕食開始時刻・就寝時刻は全国平均より早くなっている。(表 10)

表 10 主な行動の平均時刻 - 平日

	(時.分)					
	山形県			全国		
	総数	男	女	総数	男	女
起床	6:38	6:49	6:28	6:39	6:47	6:30
朝食開始	7:18	7:12	7:24	7:12	7:07	7:17
夕食開始	18:56	18:59	18:54	19:09	19:21	18:58
就寝	22:46	22:41	22:50	23:16	23:19	23:13

### 用語

- ・平均時間 一人 1 日あたりの平均行動時間
- ・平均時刻 連続する 2 日間の時間帯の行動の状況から、主な行動の開始又は終了時刻を 1 日目の午前 0 時からの経過時間とし、算式により算出

# 《山形県民の生活行動》

## 1. インターネット

(1) 男性の約5割、女性の約4割が利用

過去1年間に「インターネット」を利用した人は49.1万人で、行動者率は45.7%となっている。男女別の行動者率は、男性は50.7%、女性は41.1%となっており、男性の方が女性より9.6ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、30歳代前半までの年齢層では女性の方が男性より高くなっているが、30歳代後半以上の各年齢層では男性の方が高くなっている。(図2)

行動者率は平成13年と比べ、10.5ポイント上昇し、すべての年齢階級で高くなっており、この5年間でインターネットの利用が拡大している。(図1)

図1 年齢階級別「インターネットの利用」の行動者率  
平成13年・18年

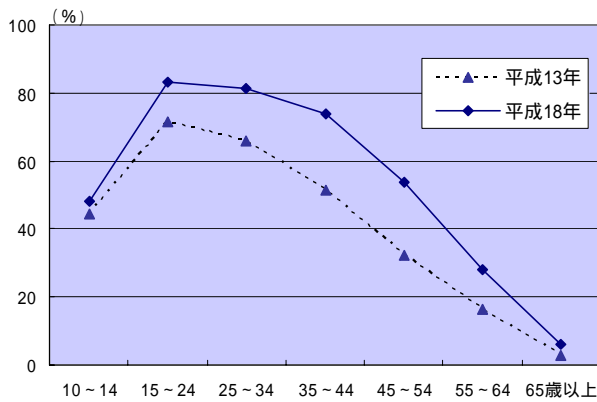
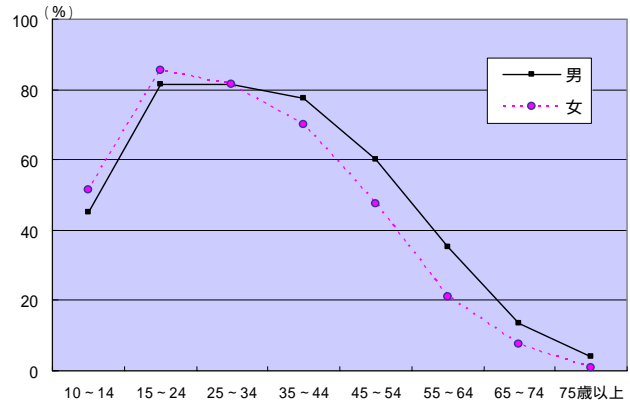


図2 男女、年齢階級別「インターネットの利用」の行動者率



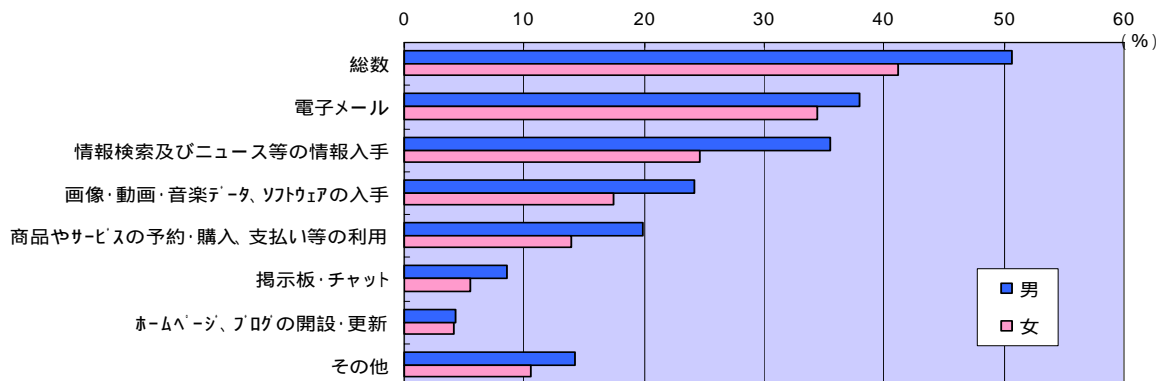
(2) 「電子メール」での利用が一番、「商品やサービスの予約・購入、支払い等」は約17%

「インターネットの利用」の種類別に行動者率をみると、「電子メール」が36.1%と最も高く、次いで「情報検索及びニュース等の情報入手」となっていて、「商品やサービスの予約・購入、支払い等」に利用した人は16.8%となっている。

男女別にみても、行動者率は、すべての種類で男性の方が高くなっている。(図3)

年齢階級別にみると、「電子メール」は男女共に15~44歳の年齢層で、「情報検索及びニュース等の情報入手」は男性が15~44歳、女性が15~34歳の年齢層で、5割を超える行動者率となっている。

図3 男女、「インターネットの利用」の種類別行動者率



## 2. 学習・研究

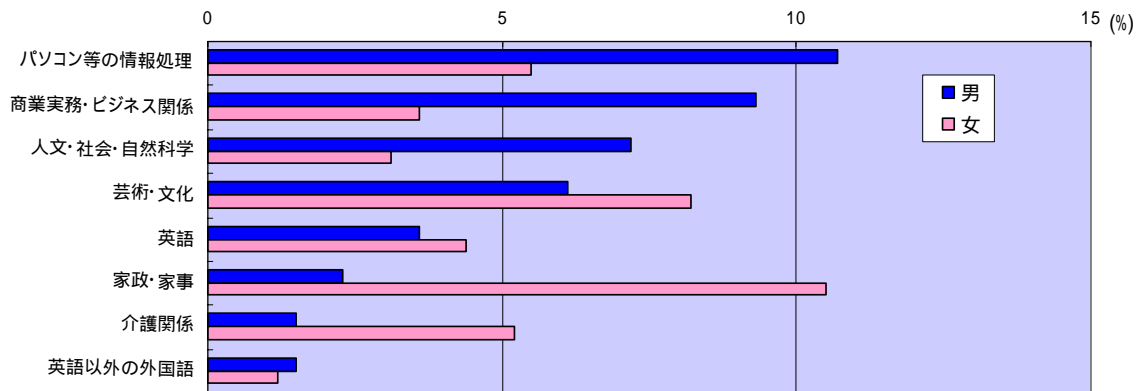
(1) 男性は「パソコン等の情報処理」、女性は「家政・家事」の行動者率が高い

過去1年間に何らかの「学習・研究」を行った人は28.4万人で、行動者率は26.4%となっている。男女別の行動者率は、男性は26.9%、女性は26.1%となっている。

「学習・研究」の種類別に行動者率を男女別にみると、男性は「パソコン等の情報処理」(10.7%)が最も高く、次いで「商業実務・ビジネス関係」となっている。

女性は「家政・家事」(10.5%)が最も高く、次いで「芸術・文化」となっている。(図4)

図4 男女、種類別「学習・研究」の行動者率



(2) 「パソコン等の情報処理」の行動者率が最も低下

行動者率は平成13年に比べ4.3ポイント低下している。これを種類別にみると、「パソコン等の情報処理」が4.7ポイント低下、「商業実務・ビジネス関係」が0.3ポイント上昇などとなっている。(図5)

男女別にみると、10~24歳女性の行動者率が男性に比べて特に高くなっている。が、他の年齢層では差は少なくなっている。(図6)

図5 「学習・研究」の種類別行動者率  
平成13年・18年

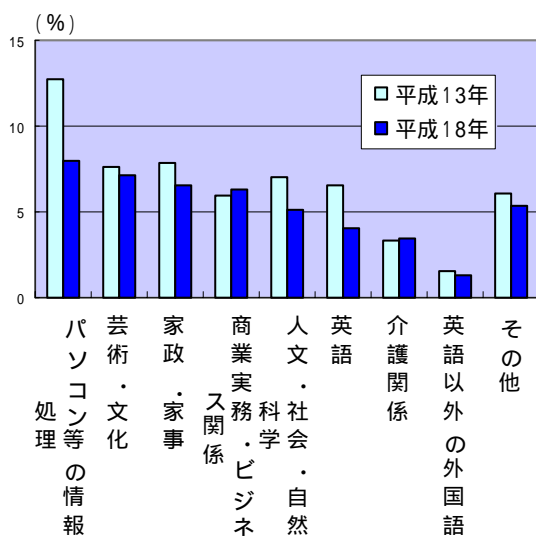
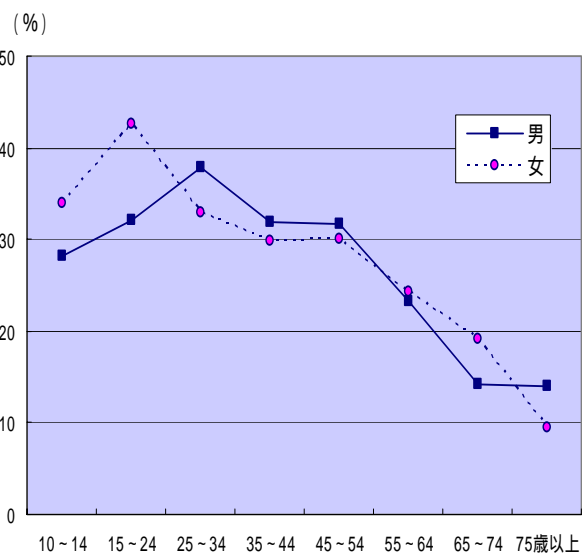


図6 男女、年齢階級別「学習・研究」の行動者率



### 3. スポーツ

(1) 約6割の人が「スポーツ」、行動者率は全体的に低下

過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は61.9万人で、行動者率は57.6%となっている。男女別に行動者率をみると、男性は63.9%、女性は51.8%となっている。行動者率が高い種類は、「ウォーキング・軽い体操」(26.7%)、「ボウリング」(14.3%)、「つり」(11.4%)などとなっている。(図8)

行動者率は平成13年に比べ、6.8ポイント低下している。これを年齢階級別にみると、65～74歳の年齢層を除いて、他のすべての年齢層で低下している。(図7)

図7 年齢階級別「スポーツ」の行動者率  
-平成13年、18年-

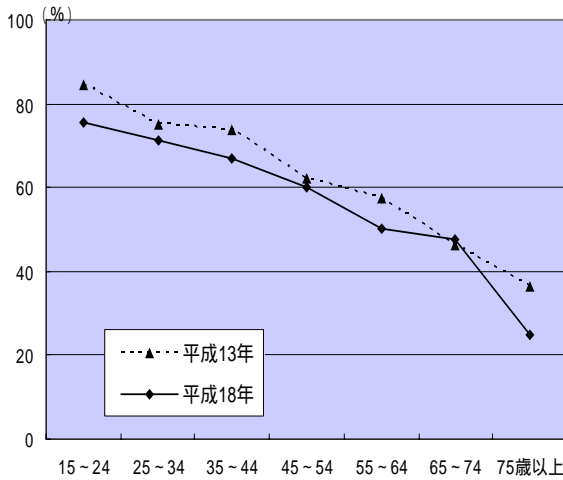
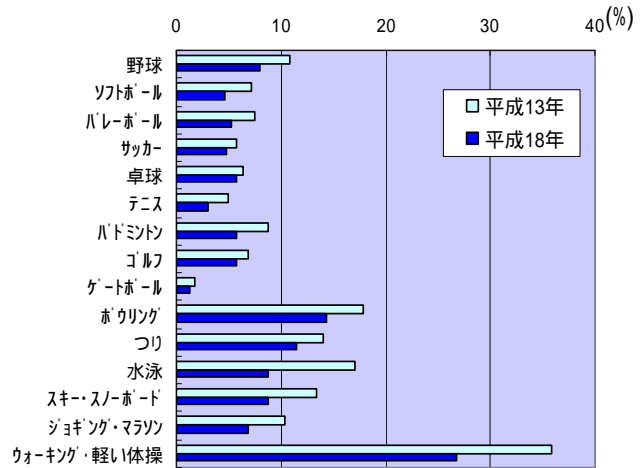


図8 「スポーツ」の種類別行動者率  
-平成13年、18年-

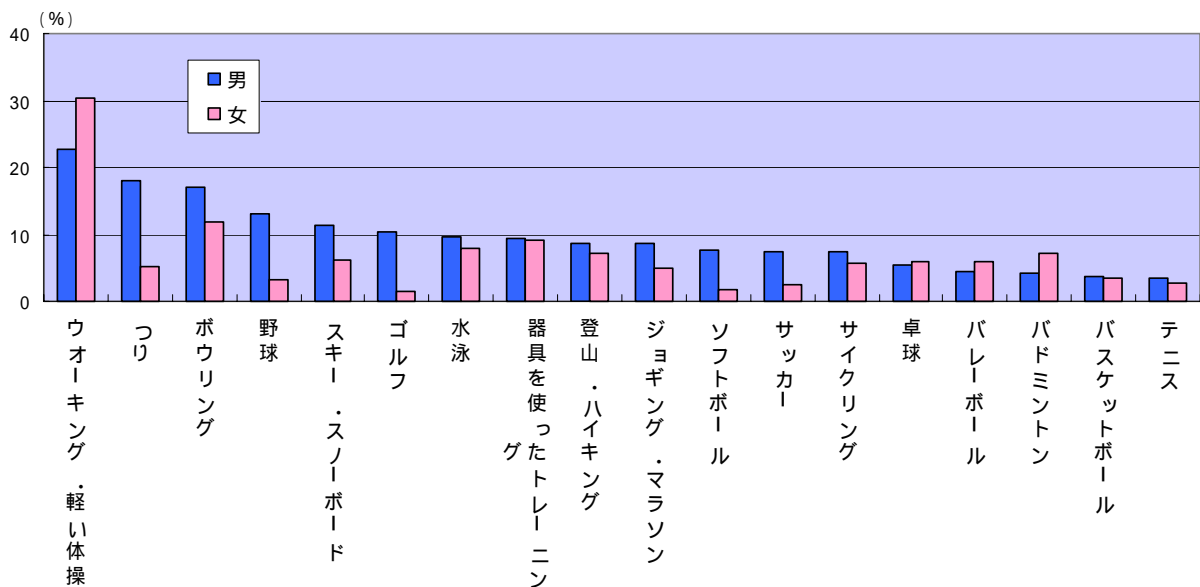


注：平成13年と比較可能な種類を表章

(2) 男女とも「ウォーキング・軽い体操」の行動者率が最も高い

「スポーツ」の種類別に行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が男女共に最も高くなっている。以下、男性は「つり」「ボウリング」、女性は「ボウリング」「器具を使ったトレーニング」などとなっている。(図9)

図9 男女、「スポーツ」の種類別行動者率



注：行動者率が3%以上の種類を表章

## 4. 趣味・娯楽

(1)若い年齢層から順に「テレビゲーム等」、「CD等による音楽鑑賞」、「園芸・庭いじり・ガーデニング」過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は84.5万人で、行動者率は78.7%となっている。男女別に行動者率をみると、男性は80.3%、女性は77.2%となっている。

行動者率が高いものは、「CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞」(43.1%)、「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」(39.2%)、「趣味としての読書」(34.4%)などとなっている。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳では「テレビゲーム・パソコンゲーム」、15～54歳では「CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞」55歳以上では「園芸・庭いじり・ガーデニング」が最も高くなっている。(表1)

表1 年齢階級別、「趣味・娯楽」の種類別行動者率の順位 (%)

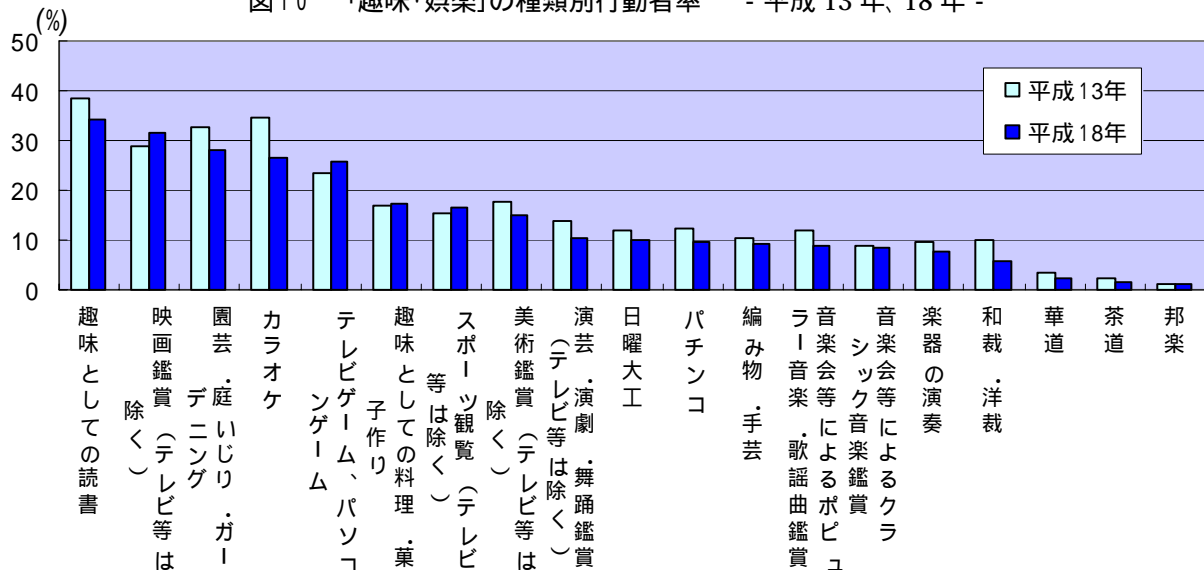
	1位	2位	3位
10～14歳	テレビゲーム、パソコンゲーム(家庭で行うもの 携帯用を含む) 70.3	CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞 56.8	DVD・ビデオ等による映画鑑賞(テレビからの録画は除く) 54.7
15～24歳	CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞 77.0	DVD・ビデオ等による映画鑑賞(テレビからの録画は除く) 69.2	テレビゲーム、パソコンゲーム(家庭で行うもの 携帯用を含む) 61.2
25～34歳	CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞 70.0	DVD・ビデオ等による映画鑑賞(テレビからの録画は除く) 65.5	テレビゲーム、パソコンゲーム(家庭で行うもの 携帯用を含む) 50.7
35～44歳	CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞 67.8	DVD・ビデオ等による映画鑑賞(テレビからの録画は除く) 66.3	趣味としての読書 44.2
45～54歳	CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞 47.2	DVD・ビデオ等による映画鑑賞(テレビからの録画は除く) 41.7	趣味としての読書 41.5
55～64歳	園芸・庭いじり・ガーデニング 47.2	趣味としての読書 30.8	CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞 25.8
65～74歳	園芸・庭いじり・ガーデニング 43.1	趣味としての読書 23.7	遊園地、動物園、水族館等の見学 15.2
75歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング 33.4	趣味としての読書 15.1	美術鑑賞(テレビ・DVD等は除く) 7.7
総数	CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞 43.1	DVD・ビデオ等による映画鑑賞(テレビからの録画は除く) 39.2	趣味としての読書 34.4

注：「CD・テープ・レコード等による音楽鑑賞」「DVD・ビデオ等による映画鑑賞」「遊園地、動物園、水族館等の見学」は18年調査からになる。

(2)「映画鑑賞」「テレビゲーム、パソコンゲーム」などは行動者率が上昇

行動者率は平成13年に比べ2.1ポイント低下している。比較可能な「趣味・娯楽」の種類について、平成13年と行動者率を比較すると、「映画鑑賞」「テレビゲーム、パソコンゲーム」「スポーツ観覧」などは上昇しているが、「カラオケ」「園芸・庭いじり・ガーデニング」「趣味としての読書」「和裁・洋裁」などほとんどの種類で低下している。(図10)

図10 「趣味・娯楽」の種類別行動者率 - 平成13年、18年 -



注：平成13年と比較可能な種類を表章

## 5 . ボランティア活動

(1)約3割の人が「ボランティア活動」、行動者率が高いのは45～54歳の男性

過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は33.5万人で、行動者率は31.2%となっている。男女別に行動者率をみると、男性は35.2%、女性は27.6%で男性の行動者率が高くなっている。

行動者率は平成13年に比べ4.9ポイント低下しており、各年齢層で低下している。

年齢階級別にみても、25～34歳、40歳代後半以上の各年齢層で男性が女性より高く、特に、45～54歳代、65～74歳代の男性の行動者率は40%を超えている。(図11、図12)

図11 年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率 平成13年、18年

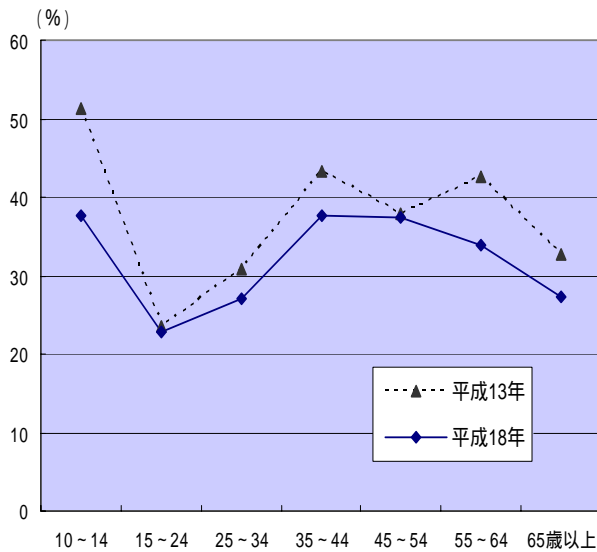
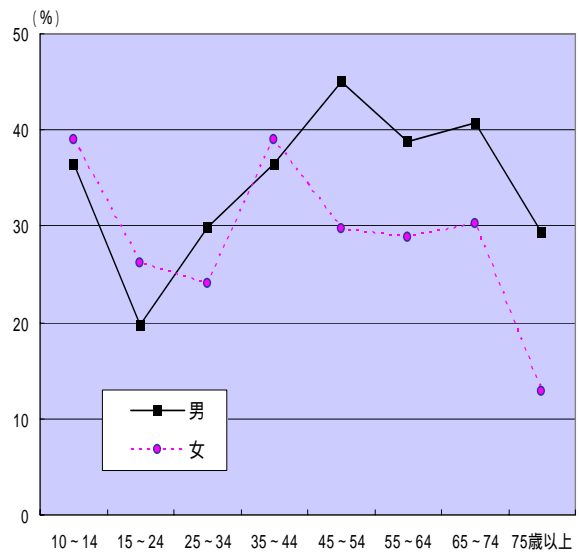


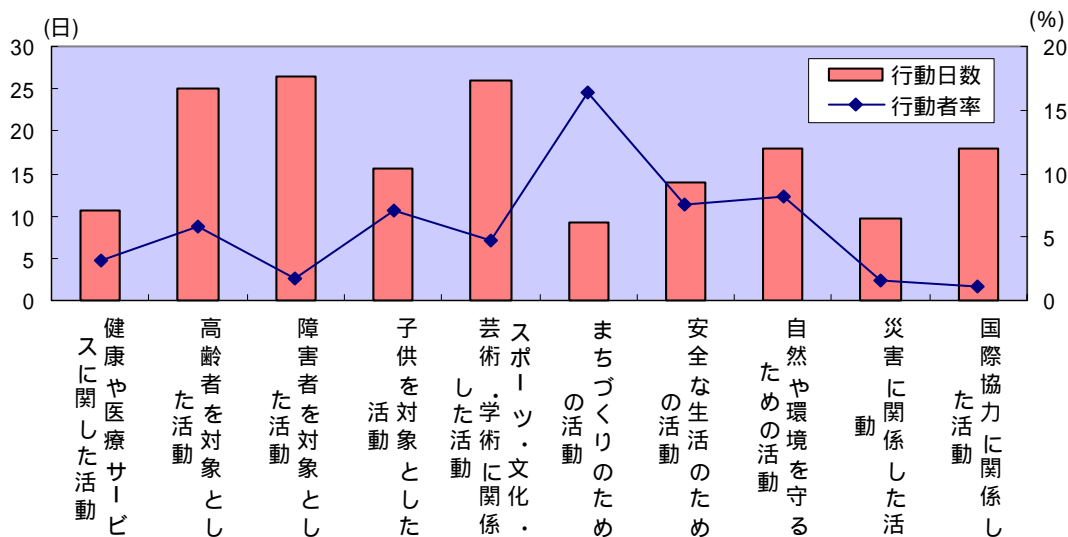
図12 男女、年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率



(2)行動者率が高い「まちづくりのための活動」

種類別に行動者率をみると、「まちづくりのための活動」が16.3%と最も高く、「国際協力に関係した活動」が1.1%で最も低くなっている。(図13)

図13 種類別「ボランティア活動」の行動者率、平均行動日数



## 6 . 旅行・行楽

### (1)約7割の人が「旅行」、行動者率は各年齢層で低下

過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は76万人で、行動者率は70.8%となっている。このうち、「行楽(日帰り)」の行動者率は55.0%、「旅行(1泊2日以上)」は56.5%となっている。男女別に行動者率をみると、男性は70.0%、女性は71.4%となっている。

行動者率は平成13年に比べ6.8ポイント低下しており、すべての年齢階級で低下している。低下幅が最も大きいのは、15～24歳層で、10.2ポイント低下している。(図14)

図14 年齢階級別「旅行・行楽」の行動者率  
-平成13年、18年-

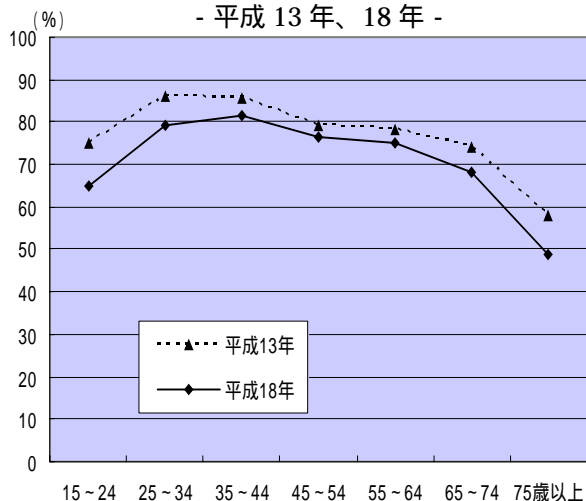
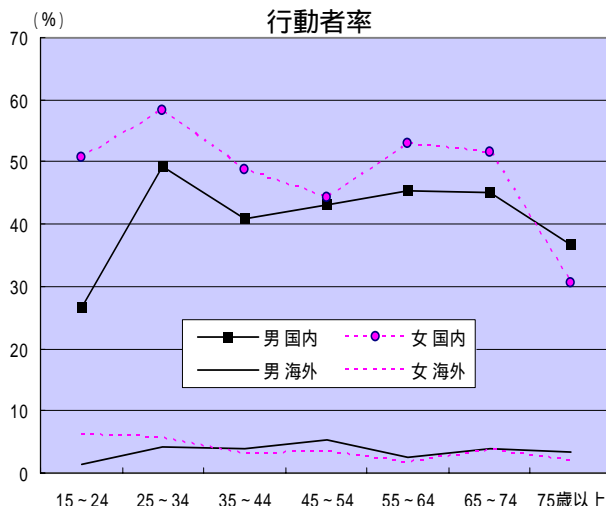


図15 男女、年齢階級別「観光旅行」の行動者率

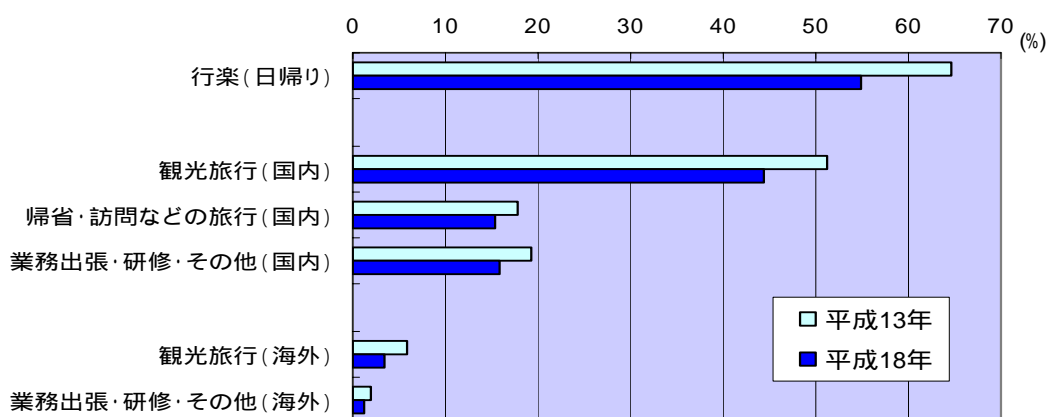


### (2)観光旅行等すべての種類で行動者率が低下

「国内観光旅行」の行動者率は44.5%と平成13年と比べ6.7ポイント低下している。また、「海外観光旅行」の行動者率は3.4%と、2.5ポイント低下している。(図16)

「海外観光旅行」の行動者率においては、男性は45～54歳の層が最も高く5.3%、女性は15～24歳の層が最も高く6.1%となっている。(図15)

図16 「旅行・行楽」の種類別行動者率 -平成13年、18年-



#### 用語

- ・行動者数 過去1年間に該当する種類の活動を行った人(10歳以上)の数
- ・行動者率 行動者数の10歳以上人口に占める割合(%)
- ・平均行動日数 行動者について平均した過去1年間の行動日数

問い合わせ先

〒990 - 8570 山形市松波二丁目 8 - 1  
山形県 総務部改革推進室 統計企画課 生活統計班  
TEL 023 - 630 - 2178 (直通)  
FAX 023 - 630 - 2185